#### 「国際金融都市・東京」構想骨子

- ▶金融の活性化は、世界的な都市間競争に勝ち抜き、成長していく ための必須の要素であり、東京の成長戦略の中核
- ▶金融分野のGDPに占める割合を、倍増(5%→10%)させると、 我が国のGDPを約30兆円押し上げる効果
- ▶香港・シンガポールの発展により、国際的な競争環境は激化
- ▶今回がラストチャンスとの危機感の下、構造的・本質的な課題に 踏み込み、抜本的対策を具体的な「行動」に結び付けることが必要
- ▶平成28年11月に「国際金融都市・東京のあり方懇談会」を設置し、 これまで5回開催



本年5月に出された懇談会の「中間取りまとめ」を参考に、 「国際金融都市・東京」構想骨子を策定

#### 「国際金融都市・東京」の目指す都市像

# アジアの 金融ハブ

国内の個人金融資産 から、日本を含むアジア に成長資金を供給

# 人材、資金、 情報、技術の 集積

金融分野に留まらず、 新たな産業や ビジネスを創出

# 資産運用業・ フィンテック に焦点

内外の関連事業者を重点的に誘致・育成

# 社会的課題の解決に貢献

投資家・顧客本位、 ESG投資を 東京に取り込む

4つの都市像の実現に向け、国や関係する民間事業者と 連携しつつ、具体的な行動を起こしていく

# Strength(強み)

·市場の規模:GDP

・経済集積:証券取引所の株式時価

総額

•人的集積:従業者数

#### Weakness (弱み)

·市場の魅力:GDP成長率、経済自由度

・法規制・リスク:法人税率

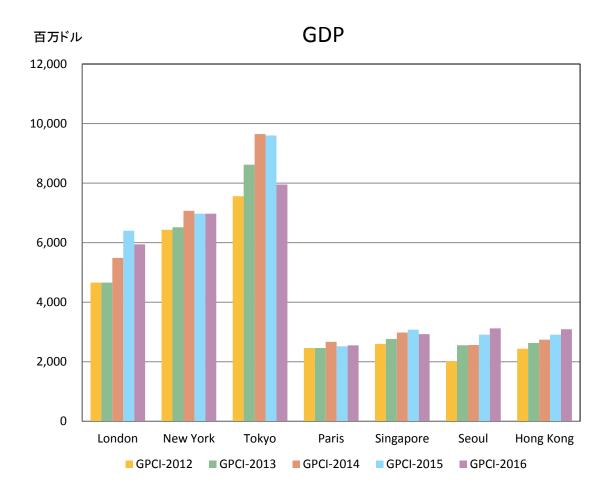
・ビジネス環境:

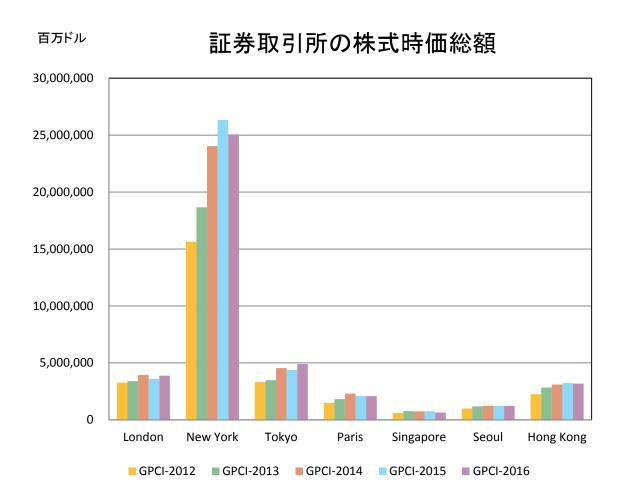
### Opportunity(機会)

・都市の総合力
(経済、研究・開発、文化・交流、居住、環境、
交通・アクセス)

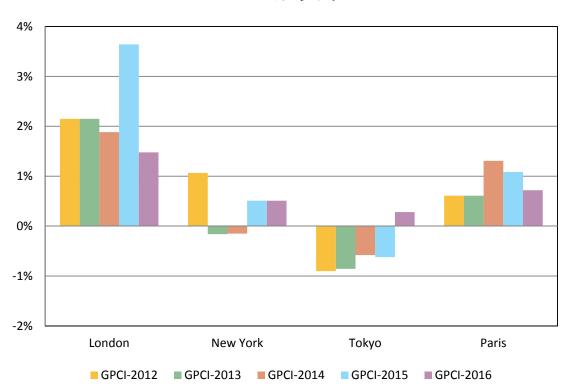
#### Threat(脅威)

・世界との繋がり(Global Circuit)

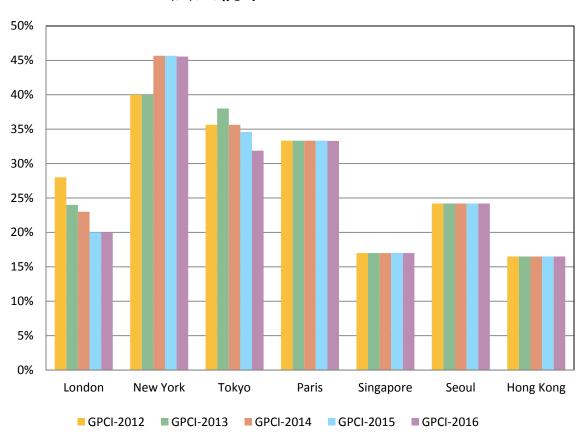


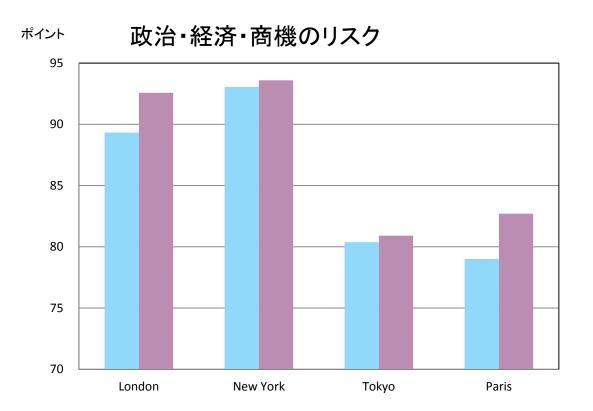


#### GDP成長率



#### 法人税率





# グローバル・サーキット Global Circuit 2015

#### グローバル・サーキット(Global Circuit)とは

#### ◆目的

都市の総合力を評価する上で重要な点は、単に都市ごとの指標の優劣だけでなく、これら大都市が<u>相互にどのような関係</u>(依存、競合、補完)を持っているかである。

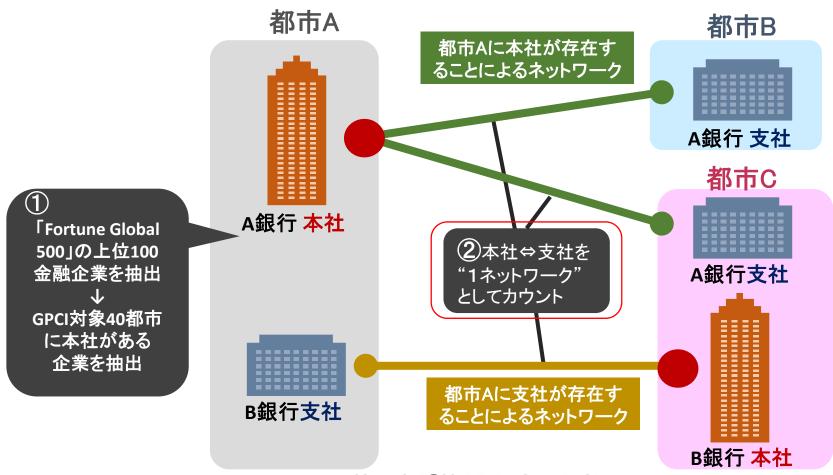
そこで、都市別の指標を積み上げただけでは分からない、グローバル都市同士のつながり、すなわち「グローバル・サーキット」を顕在化させるために、都市間相互の関係を表す以下のネットワークについての分析を行った。

#### ◆分析内容

- 1. グローバル企業の40都市間での本社・支社のネットワーク(金融業)
  ※金融業: 金融および、エネルギー、金属・鉱業、通信、公益事業
- 2. **グローバル企業の40都市間での本社・支社のネットワーク**(<u>非金融業</u>) ※非金融業: 金融および、エネルギー、金属・鉱業、通信、公益事業以外

#### ネットワークのカウント方法 金融業

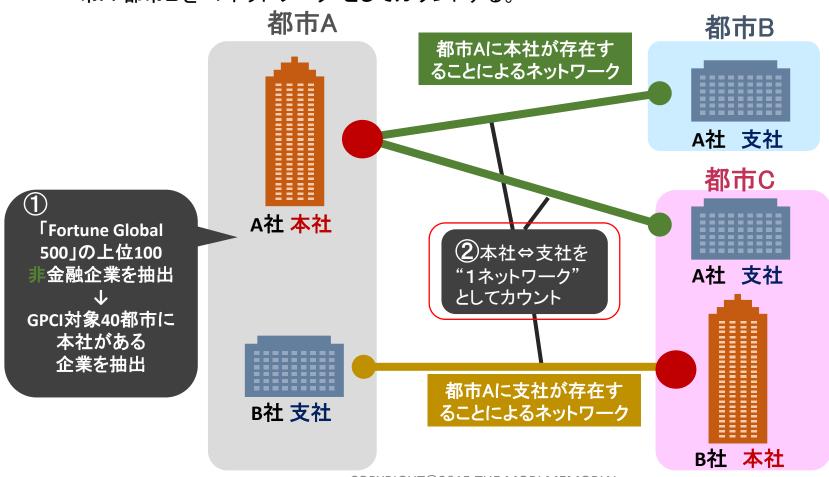
- 1. グローバル企業の40都市間での本社・支社のネットワーク(金融業)
- ① <u>Fortune Global 500 (2014)</u>における、金融業(銀行、保険等)の<u>上位100社の中から、GPCIの対象40都市に本社が存在する企業</u>を抽出。
- ② 企業の本社がある都市(都市A)に対してその企業の支社がある都市(都市B)があった場合、都市A-都市Bを"1ネットワーク"としてカウントする。



COPYRIGHT©2015 THE MORING MORIAL ALL RIGHTS RESERVED. 本社や支社が互いの都市にある関係の線

#### ネットワークのカウント方法 非金融業

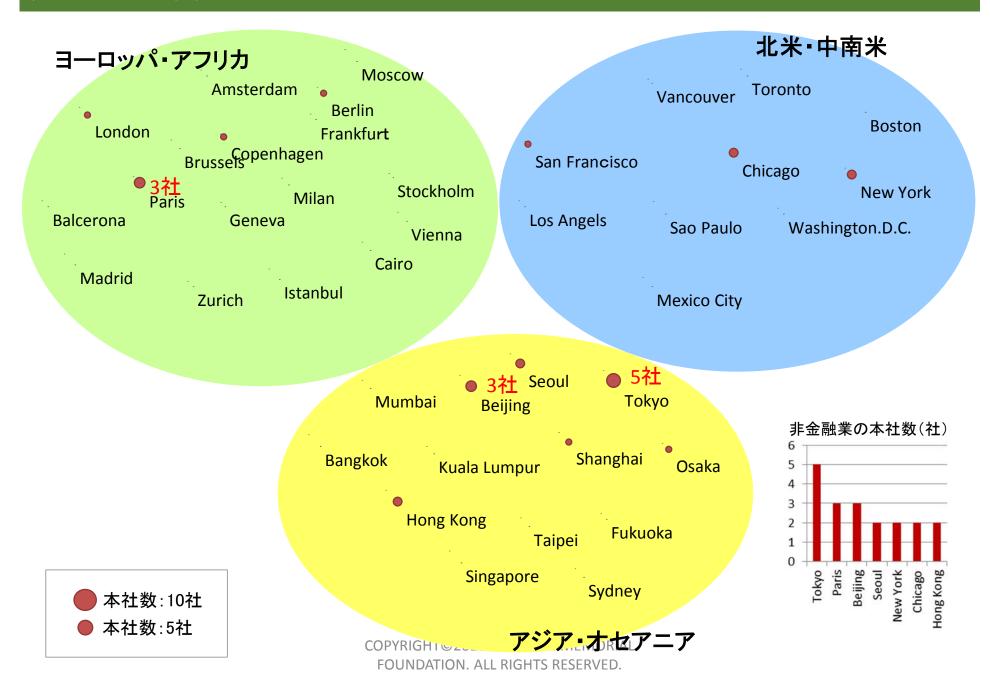
- 2. グローバル企業の40都市間での本社・支社のネットワーク(非金融業)
- ① 「Fortune Global 500 (2014)」における、非金融業(金融および、エネルギー、金属・鉱業、通信、公益事業以外)の上位100社の中から、GPCIの対象40都市に本社が存在する企業を抽出。
- ② 企業の本社がある都市(都市A)に対してその企業の支社がある都市(都市B)があった場合、都市A-都市Bを"1ネットワーク"としてカウントする。



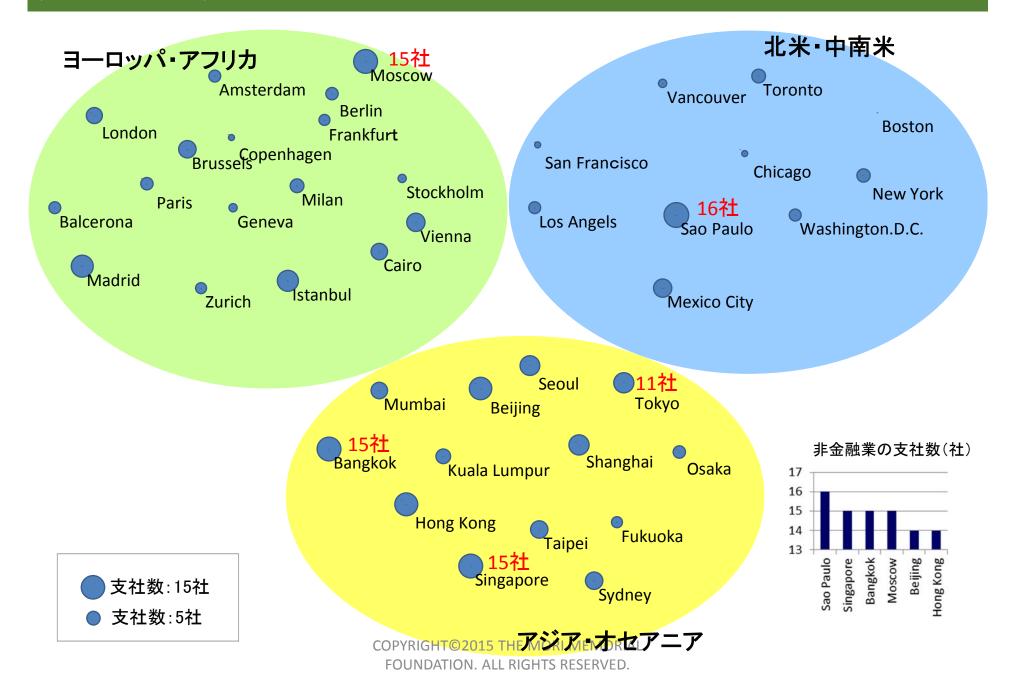
COPYRIGHT©2015 THE MORING MORIAL ALL RIGHTS RESERVED. 本社や支社が互いの都市にある関係の線

# 非金融業の都市間ネットワーク

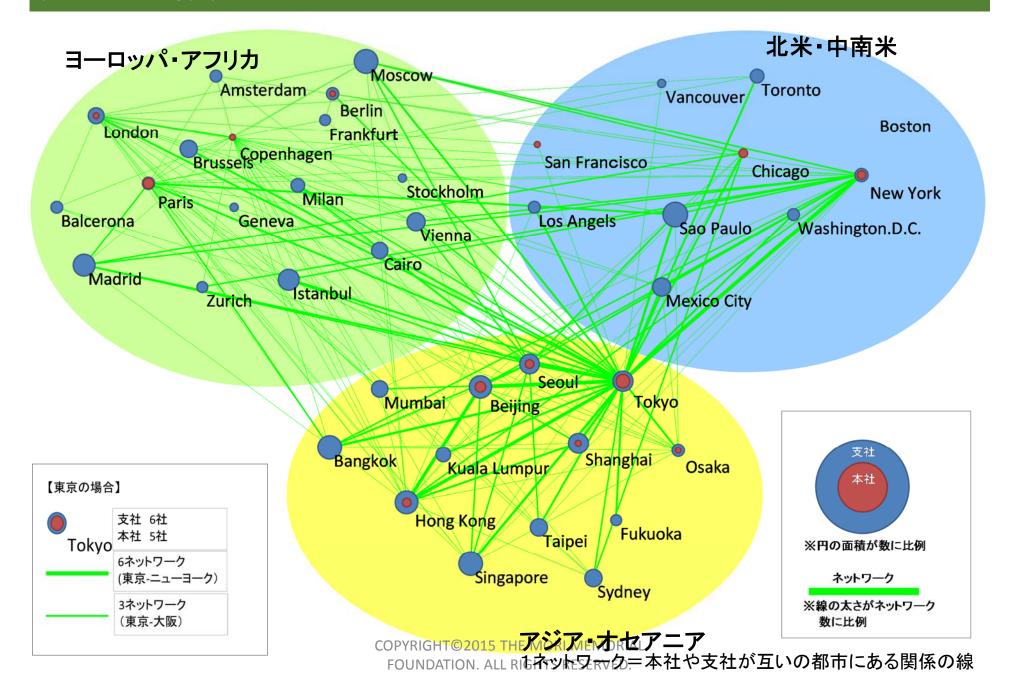
#### 非金融業の本社立地状況



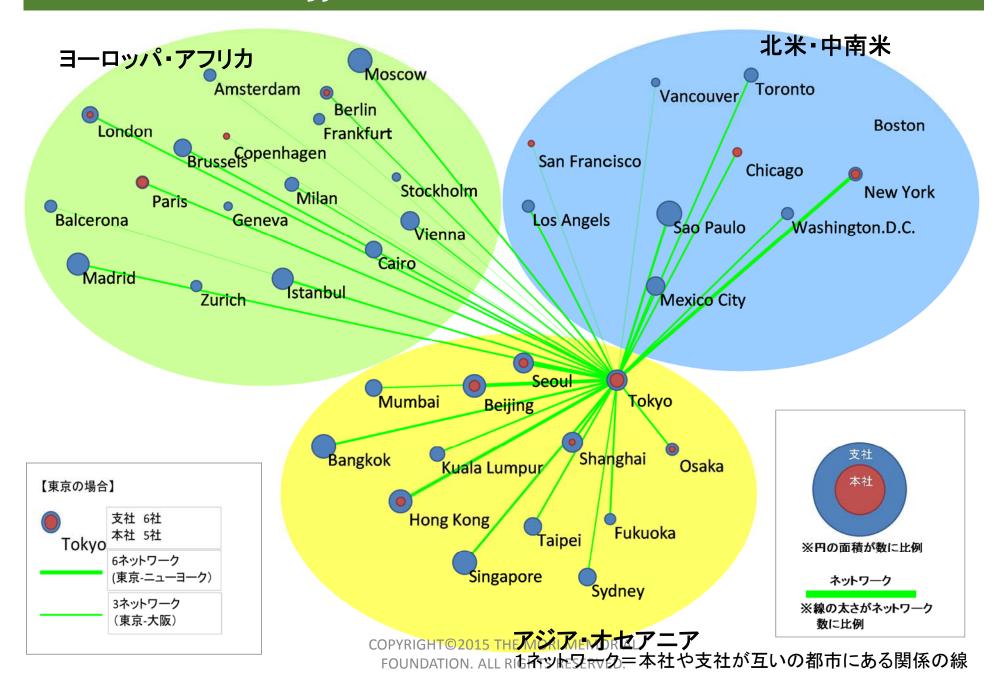
#### 非金融業の支社立地状況



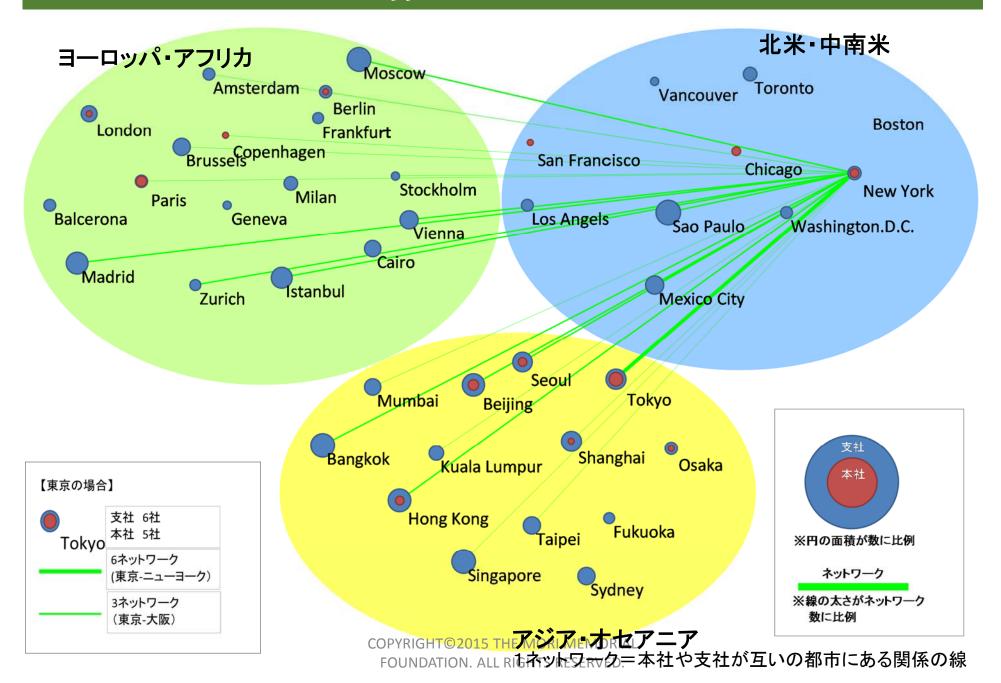
#### 非金融業の都市間ネットワーク



#### 非金融業 <東京⇔世界39都市とのネットワーク>

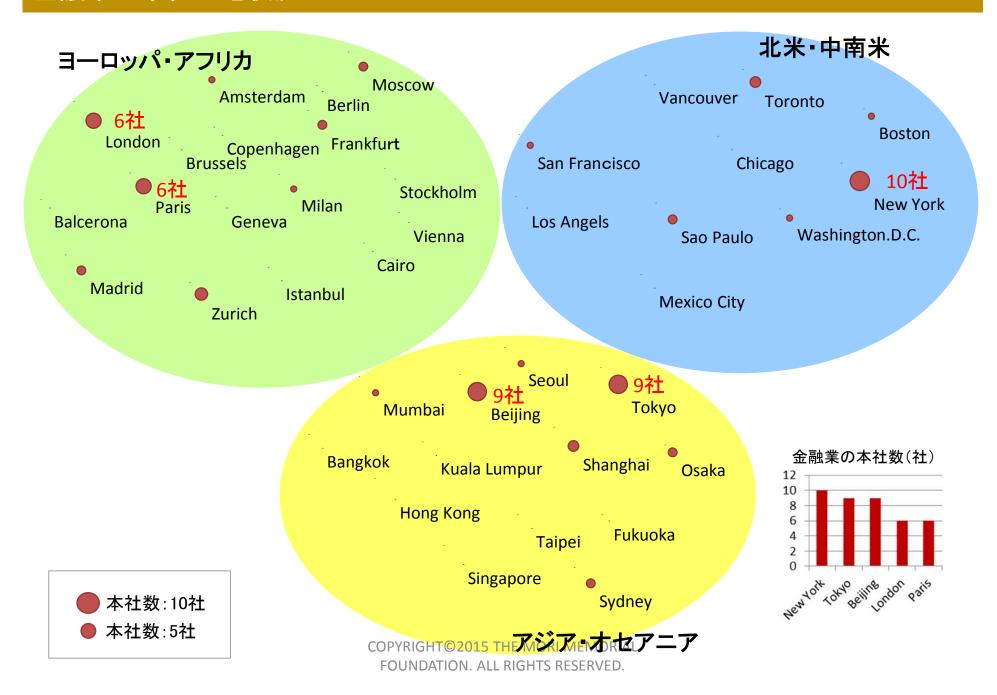


#### 非金融業 <ニューヨーク⇔世界39都市とのネットワーク>

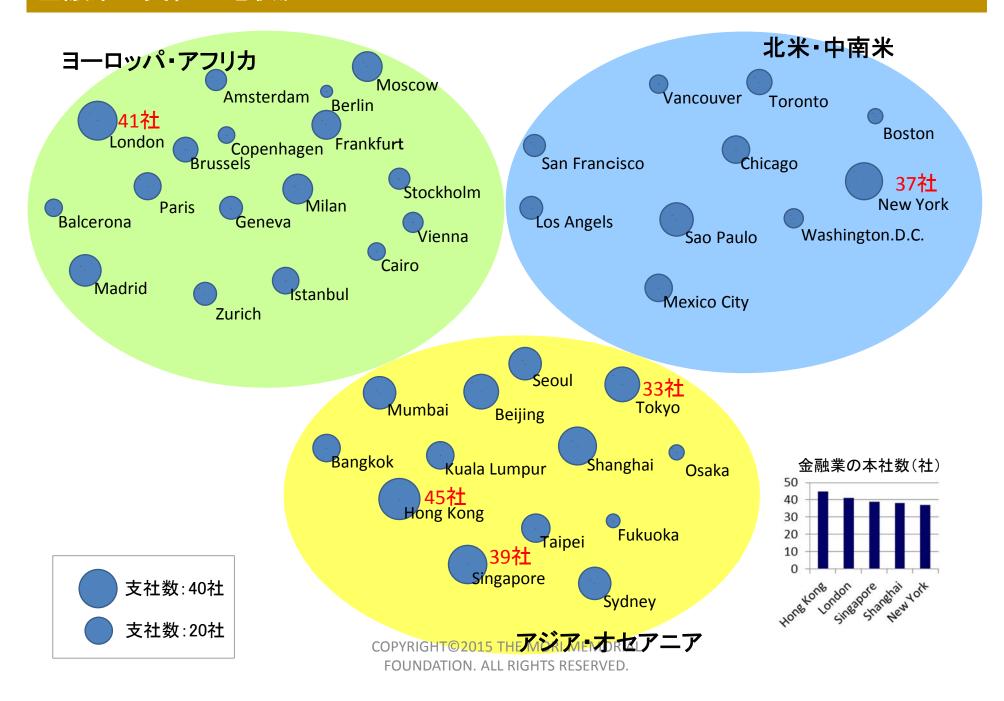


# 金融業の都市間ネットワーク

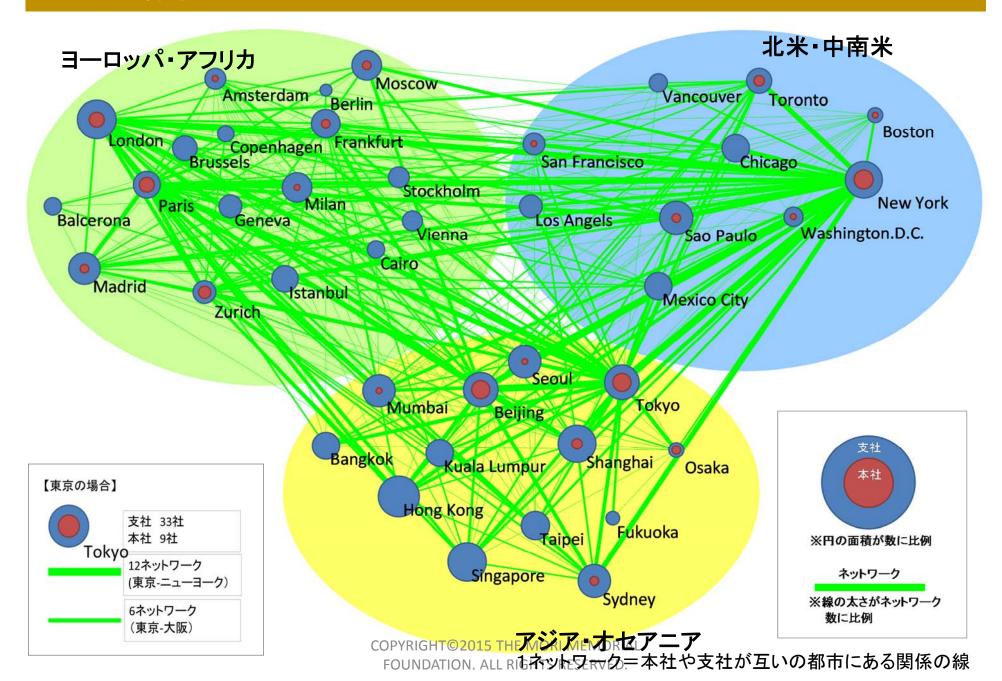
#### 金融業の本社立地状況



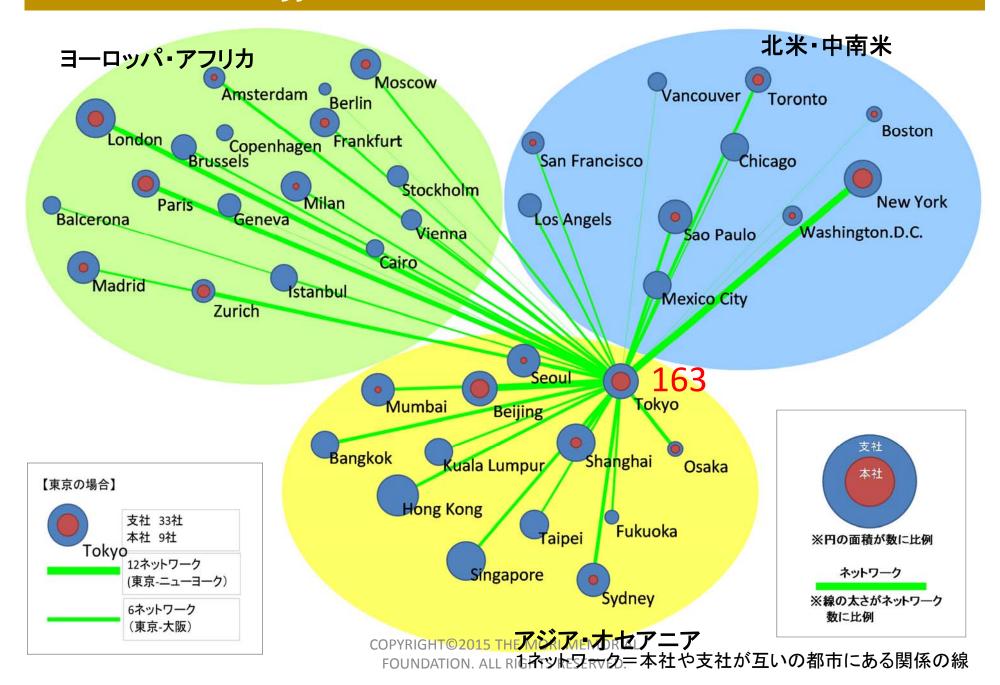
#### 金融業の支社立地状況



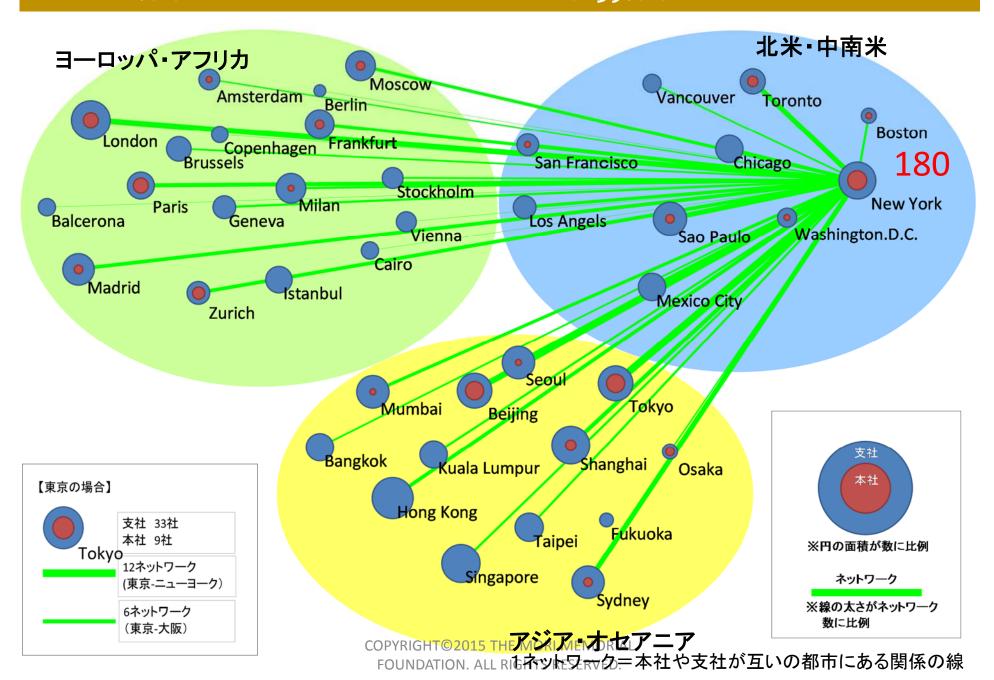
#### 金融業の都市間ネットワーク



#### 金融業 <東京⇔世界39都市とのネットワーク>

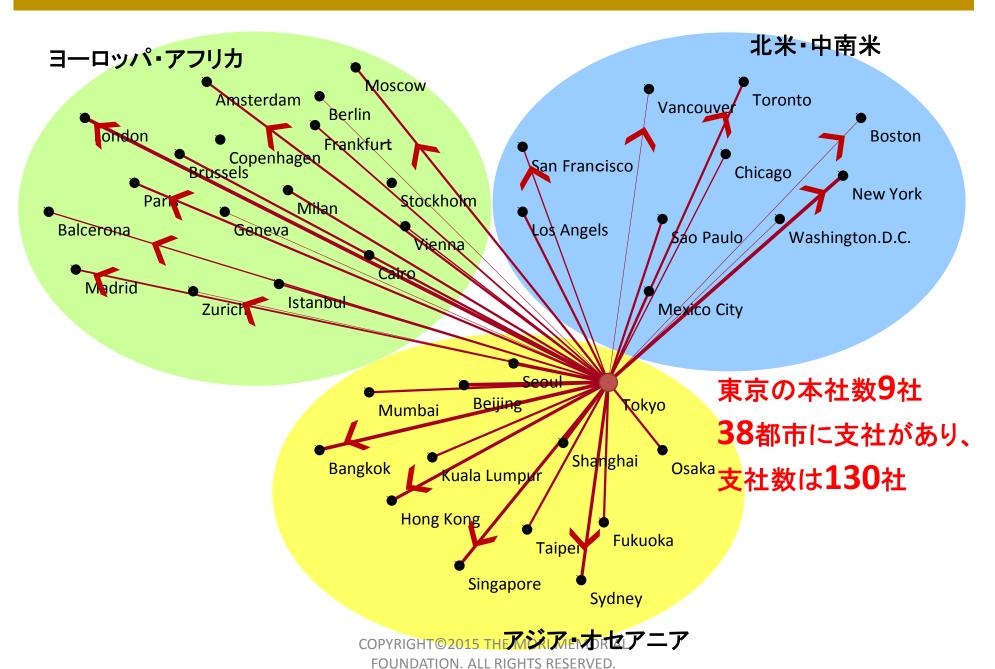


#### 金融業の都市間ネットワーク<ニューヨーク⇔世界39都市とのネットワーク>

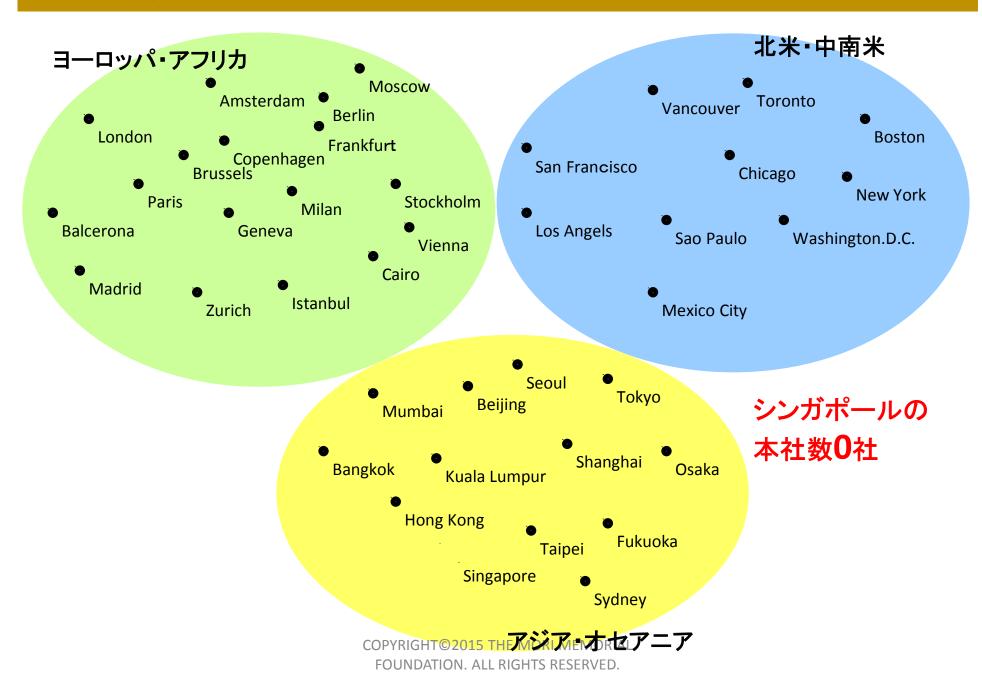


# 金融業の都市間ネットワーク 東京とシンガポールの比較

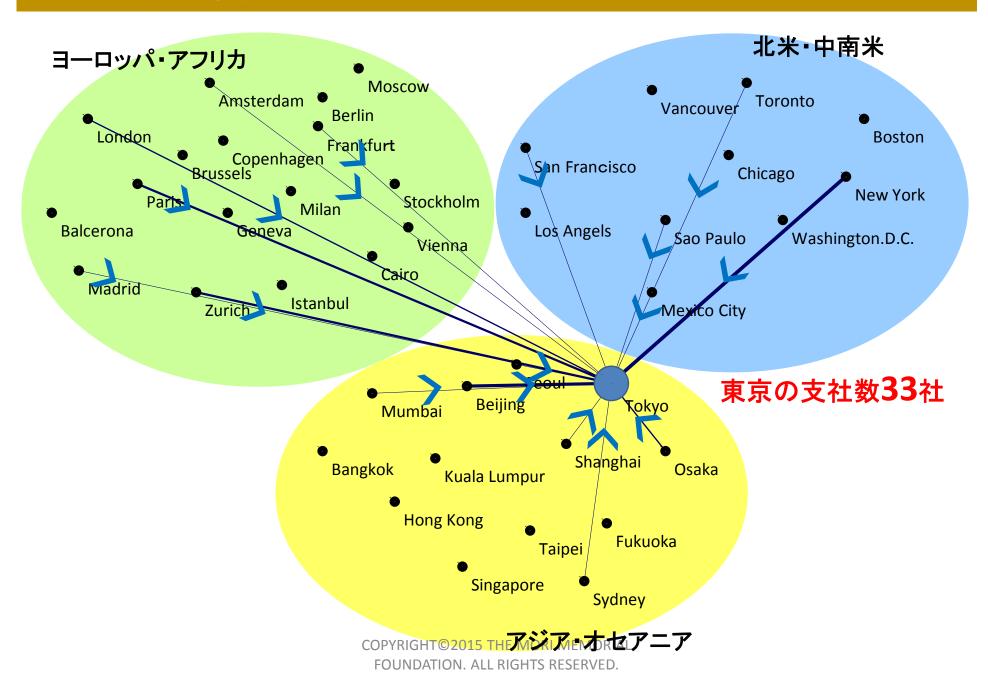
#### 金融業 東京に本社があることにより形成されるネットワーク



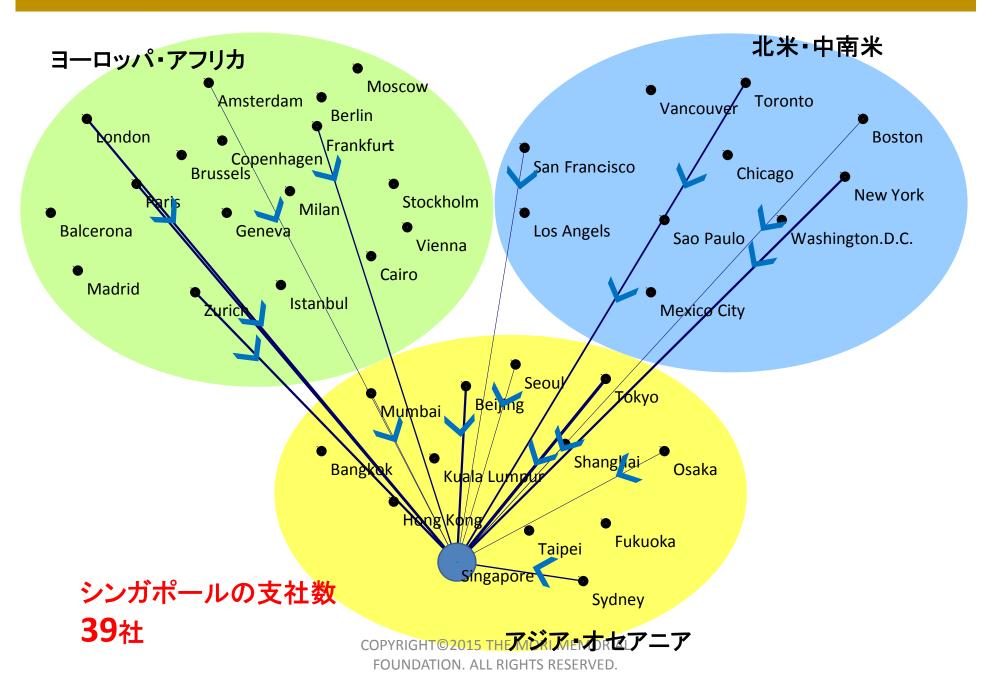
#### 金融業本社がシンガポールに存在することによるネットワーク



#### 金融業 支社が東京に存在することによるネットワーク



#### 金融業 支社がシンガポールに存在することによるネットワーク



#### 支社数(アジア主要都市の比較) ※1企業が1都市に複数の支社を持っている場合も1とする

◆支社が存在することによる都市間ネットワーク数のみに着目すると、東京はシンガポールや香港よりネットワークが少なく、グローバル企業がアジアに支社を設置する際の拠点としては、プレゼンスが劣っている様子が伺える。

